

令和元年(2019年)9月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2019年9月 数量 (トン)	2019年9月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	北海道産・青森県産中心の入荷でした。入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	553	91	109%	72%
2		キャベツ	群馬(嬭恋)県産中心に山梨県産、長野県産、東北産からの入荷でした。平年より大玉傾向で品質も良好で、入荷量は前年並みでした。平均単価は高く推移しました。	843	98	100%	121%
3		トマト	北海道産、茨城県産中心の入荷でした。台風の影響により入荷量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	499	447	89%	91%
4		なす	群馬県産、栃木県産中心の入荷でした。入荷量はかなり増加しましたが、台風の影響により作柄が悪く、平均単価はやや安く推移しました。	89	384	124%	90%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	804	82	90%	78%
6	果実	巨峰	山梨県産中心の入荷でした。入荷量はやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	48	1,082	95%	116%
7		つがる	青森県産中心の入荷でした。入荷量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	153	281	83%	92%
8		豊水	全国的に高温にるる蜜症が発生し、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	265	329	81%	123%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+) 3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上